

おめでとうございます 広島県警察本部長表彰

大竹警察署管内少年補導
 補助員連絡協議会
 (少年健全育成活動年間優秀団体)



伊崎 富夫さん(元町2)
 松田 道男さん(南栄1)

多年にわたり少年補導補助員として少年の非行防止に尽力し少年の健全育成に貢献



8月6日「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式典」が開催されました。広島平和記念公園には、原爆死没者の霊を慰め、世界の恒久平和を祈念するため、多くの方が参列しました。今年は、三谷 弘さん(晴海1)が県内被爆者代表として、献花・参列しました。(左は安倍首相)



8月24日 中学生の職業体験「キャリアスタートウィーク」が市内の各種事業所で行われました。市役所では、玖波中2年の北林佑唯さんと中西晶哉くんが、広報で取材を体験。市立図書館で司書体験をしていた他校の生徒に仕事の様子をインタビュー。記事にまとめて市の公式フェイスブックにアップしました。



8月31日 大竹警察署、少年補導補助員連絡協議会、NPO法人ハローの仲間が、玖波中学校に横断幕とのぼりを贈りました。そこには校歌の「ここに築きし自治の城」という歌詞が染め抜かれています。生徒たちの健全育成を願った贈り物は、昨年の大竹中学校に続き2校目です。



(右上)身振り手振りを交え、楽しいコーラスを聞かせてくれた、もぶりの会のメンバー。(左上)ステージに惜しめない拍手が送られた。(左下)大竹音頭で会場を一周する大きな輪ができた。

9/16

壇上は芸達者、観客席もお達者で

サントピア大竹

「敬老の日」を中心に市内各地で敬老会が催されました。栄地区では、ステージに踊りや歌などの芸達者たちが集い、満席の会場を沸かせます。

コーラスで「生涯現役の歌」を披露した西栄2丁目ふれあいサロン「もぶりの会」の泉隆子さん(西栄2)は、「笑うことは健康につながります。会場の皆さんに笑顔になってもらおうと思って歌いました。ユーモラスな赤いほっぺのシールを貼って歌ったのも、笑ってもらいたかったから」とのこと。

次々と演じられる出し物に、会場は終始なごやかな雰囲気でした。



9/18

総理大臣から100歳の長寿の祝い

今年度100歳を迎える人に、内閣総理大臣からお祝い状が贈られました。

大正7年生まれのお忠末洋子さんを市長が訪問。お祝い状と記念品を手渡し、長寿を祝う言葉をかけました。

「こまめに動く人で、若いころから病院にかかってもなく、健康に過ごしてきました」と娘の高橋美智子さん。

9月の時点で、今年度は市内で4人の方が100歳を迎えています。



8/26



きれいに洗えたかな

なかはま保育所

手洗いマイスターという民間資格を持つ、市食品衛生協会のメンバーが、子どもたちに正しい手洗いの方法を学んでもらおうと保育所を訪問しました。

食中毒などの予防を目的に今年から始めた取り組みです。年長組16人の子どもたちは、「指を開いてこすりましょう。指の先まで洗いましょう」とDVDの歌に合わせてまず練習。

汚れの代わりのクリームを手につけた後、石けんでしっかり洗います。ちゃんと汚れが取れたか特殊なライトを当ててチェック。しかし、1回ではきれいに落ちません。再度ゴシゴシ洗うと、きれいな手になり、ごぼうびのメダルをもらってニッコリ。

最後に「食事やおやつの前に今日練習したように洗ってください」と池田耕治副会長が呼びかけました。

(左下)指の間や手首までゴシゴシ。(右上)きれいになったかライトで照らしてチェック。(右)「きれいになったね」と書かれたメダルをもらってご満悦。



(右)力強い自由形のストロークにしぶきが上がる。(左)水中玉入れて、カゴを狙って勢いよくジャンプ!

狙い定めてジャンプ!

小方学園プール

30回目を迎えた市民水泳大会が開催され、幼稚園児や小学生からシニアまで、幅広い世代のスイマーたちが、日頃の練習の成果を競いました。

フンストロークごとに上がる水しぶきに、プールサイドからは熱気を帯びた声援。

競技の合間には、子どもたちのため、日焼けコンテスト、男女チーム対抗の水中玉入れ、プールの底に隠された宝さがしなどのアトラクションも用意されており、プールは歓声に包まれました。

競技を終え、それぞれ記録票を受け取ると「去年よりタイムが4秒縮まった」と喜びの声。

各種目で精一杯力を出した夏的一幕でした。



8/22